

委員会報告

2019～2020年度

No.1

第 6 回

委員会名

GMTクラブ合併検討委員会

委員長名

L 高桑昌彦

開催 日時	2020年1月20日 月曜日 15時30分 ～ 17時30分						
開催 場所	山浦晟暉 元国際理事 会議室						
出席 者	×	伊賀地区ガバナー	×	進藤第1副地区ガバナー	×	中井第2副地区ガバナー	
	○	委員長 高桑昌彦 L	○	副委員長 西脇和紀 L	○	副委員長 金岡弘大 L	
	×	副委員長 松浦卓司 L	○	副委員長 市岡隆志 L	○	副委員長 樋口昇 L	
	○	委員 佐藤壘 L	×	委員 宮本正好 L	○	委員 藤田紘子 L	
	×	委員 平田桂子 L	○	委員 佐々木伊知男 L	×	委員 高橋景 L	
	○	委員 相野谷信之 L	×	委員 池田佳織 L	×	委員 中村和男 L	
	○	委員 大山巖 L	○	委員 松本万紀 L			
	○	キャビネット副幹事 葛西智子 L					
	出席オブザーバー						
	○	石井征二 GMT330複合地区コーディネーター					
次 第	司会・進行【副委員長 樋口昇 L】						
	1	委員長挨拶					
	2	ご挨拶					
	3	配布資料の確認					
	4	議事					
	5	次回日程について					
	6	閉会の挨拶					
議 題	審議経過事項の概要						
	1	＜委員長挨拶＞ 【委員長 高桑昌彦 L】 明けましておめでとうございます。メンバーが益々仲良くなってきました。伊賀ガバナーも頑張っておりまして、世代交代かなとも思っています。 ライオンズ活動を一生懸命やらないといけません。ライオンズクラブの東京地区も大幅に変わってきている。変わってきた組織に対応していかないと会員数は大きく減少してしまう。これからクラブによっては相当数のメンバーが高齢で動けなくなったりする可能性もあります。解散のクラブがたくさんできてしまい、150クラブ程度になってもおかしくありません。残り半年間楽しくやっていきましょう。					
	2	＜ご挨拶＞ 【石井征二 GMT330複合地区コーディネーター】 明けましておめでとうございます。 現況は高桑委員長が話したとおりで、30名以上の正会員がいるクラブが非常に少ないです。少なくなってくると、だんだんメンバーも気が乗らなくなり、出席しなくなってしまう。 すでに解散となったクラブもあり、あといくつか解散しそうなクラブもある。 解散等の情報を皆さんで委員長に持って行ってもらいたい。 ガセネタのように聴こえる情報でも本当の情報もあります。 今後ともよろしくおねがいします。 【キャビネット副幹事 葛西智子 L】 高桑委員長からもあったように、伊賀ガバナーも頑張っています。我々幹事団も一生懸命とやっています。各クラブの活性化のために良いアクティビティがあれば、積極的に関与したいので教えてください。					
	3	＜配布資料の確認＞ 【副委員長 西脇和紀 L】 本日の配布資料につき、以下の通りであることの確認がなされた。 ①会議次第 ②出欠簿 ③第5回委員会議事 ④アンケート結果 ⑤下半期キャビネット会議室予約状況					

議 題	＜議事＞ (1)今後の活動について 【委員長 高桑昌彦 L】 合併検討というのは初めてできた。本来はいいはずの合併が悪いという印象になっている。本来の一番いい合併のあり方は、合併が悪くないという認識を持ってもらうことである。国際ガバナーからはクラブを作ることが求められている、それで作るのはいいいのだが、解散も多くなる。 新しいクラブができると、チャーターナイトが開かれるが、それを小型版にして、合併クラブのお披露目会をするのはどうか。 合併をきっかけにすると、新しいメンバーを入れようという動きが起こる。 ガバナーの方針で大きく影響するので、そのようになることが望ましい。 当委員会としては、それを陰ながら応援し、また来期に続くように引き継ぎたい。 来期は合併の委員長を合併したクラブから出すのはどうか。 【西脇副委員長】 昨年のアンケート回答で合併を検討しているクラブから連絡があり、訪問を希望された。 2月例会ないし3月例会に訪問する予定。 委員長、副委員長で参加する。昼例会に参加する。 日程については、決まり次第、連携する。 【石井征二 GMT330複合地区コーディネーター】 同じゾーンで合併されることがほとんどであるため、合併ではゾーンチェアパーソン(以下、「ZC」という。)が重要な役割を果たす。 慣行となっているZCをローテーションする仕組みがよくないかもしれない。 ZCが各クラブを知っていると、スムーズに進む。 キャビネットの役職を経た人が再度ZCをやってみると良いのではないか。 →高桑委員長から ZCがゾーンを一番知っていなければいけない。 最近ではキャビネット会議での議論が少ない。かつては議論がたくさんされていた。 ゾーンの中で議論を重ねていくことが必要。ゾーンが発展してキャビネットも発展する。 ZC主催の会員増強が必要かもしれない。 【相野谷L】名門の意識が強いところもある。合併にあたってアクティビティをすり合わせるのが難しい。数人で集まって気の合う仲間がいいというのが、高齢に伴って亡くなってしまうこともある。合併後は会員も増えた。 (2)その他 さよなら委員会は「汗をかく」というテーマのもと、開催地はテルマー湯とする予定。
5	＜次回日程について＞ 日時:2020年2月10日(月) 15時45分～17時30分 場所:キャビネット事務局 小会議室
6	＜閉会の挨拶＞ 【副委員長 金岡弘大 L】 お忙しい中、ご参加頂きありがとうございました。今年も一生懸命やっていきましょう。
次回開催日時 場所	日時: 2020年2月10日(月) 15時45分～17時30分 場所: キャビネット事務局 会議室
	作 成 者 L 佐藤 壘